

萬福寺だより

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

2012年冬号／no.14／平成24年12月1日発行



大本山總持寺佛殿



人形供養祭での安本利正ご住職様の法話 (10/21)



多くの人形をバックにご住職様と共に (10/21)

心やすらぐ写経会(第3回)

12月16日(日) 午後 1時から3時まで実施します。

来年2月11日(祝)にも行います(第4回)



大本山總持寺 太極堂で總持寺参拝記念撮影 (10/1)

新益と玉蘭盆会法要

平成24年7月13日(金)
12時(正午)から新盆法要、など
渡邊老師による法話

盆法要の後、東龍郡田上町のご住職の渡邊宣昭老師による法話「向き合う 伝える 支えあう」があり、14時から孟蘭盆会法要が行われました。

行事の間に、今年行われた萬福寺護持会の役員改選に伴い新役員の方々が紹介されました。

まず、平成19年から萬福寺護持会長を務められた波田野鈴雄氏、新会長の小林榮子氏がそれぞれ挨拶され、続いて安本ご住職様のご挨拶、近況報告、そして副会長の波田野草氏、副住職の安本由道氏から大本山總持寺参拝など、今後の行事について説明がありました。

渡邊老師による法話は、お釈迦様の4つの教え(四摂法)である「布施」(恵みを与え続ける)、「愛語」(慈しみの心で語り合う)、「利行」(幸せを願う行動)、「同事」(苦しみや喜びを思いやる人となる)についてお話されました。

大施餓鬼会法要

平成24年7月23日(月)
午後1時から法話、2時から法要
田上老師法話「なぜ「南無阿彌陀仏」と称えるのでしょうか？」

は

じめに駒澤大学名誉教授・田上太秀老師の法話があり、その中で当山萬福寺の話とエピソードを紹介しました。

鎌倉時代1200年代半ばに建立され、88センチの立像です。日本で2番目の大きさで文化財としても価値があります。当山は日蓮聖人とゆかりも深く宗派を超えた由緒あるお寺です。

私が熊本に住んでいた中学生の頃の話ですが、「友人のおじいちゃん」は毎朝夕に「南無阿彌陀仏」と厳経をはじめる。ある朝、友人を迎えに行つたとき、いつ

秋彼岸法要

平成24年9月22日(土)
午後1時から法話、2時から法要

法話では宮城泉源寺三宅大哲師、天瑞寺日比博英師による梅花流詠歌「三宅御和讃」のお唱えが行われました。

お釈迦様・阿彌陀様を讃え、ご先祖様を敬う心を唱える歌のメロディーはどこか懐かしく、心に響きます。歌の上手下手ではなくそこに道心があることが大切で、心を込めてお唱えしよう、との説明があり、参拝者全員でお唱えする声が境内に心地よく響きわたりました。

また、「人生は一度しかないといいますが、本当に昨日は返ってこない、常に移り変わっていく社会の中で私達は生きています。一度しかない人生をどう生きるか、お釈迦様の4つの教え(四摂法)を胸にとどめて生活していただけたら、自分だけでなく他人との幸福な時間が共有できる」というお言葉がありました。

2時からは秋彼岸法要が執り行われました。

(左から) 日比博英師、三宅大哲師、大澤香有師



大本山總持寺の三松閣大広間

檀信徒様の ご支援に感謝

萬福寺護持会では10月1日(月)大本山總持寺参拝日帰りバス研修視察を
行い、曹洞宗の二大本山(永平寺と總持寺)の1つである大本山總持寺に参拝し、幾多の伽藍を拝観しました。参加者は70名。

總持寺は覺山禪師(永平寺を開いた道元禪師から4代目)によって開創、全国に広め曹洞宗の礎を築き、能登で570年余来ておりましたが、明治31年(一八九八年)大火災に遭い焼失、ほぼ10年後に現在の横浜市鶴見に移転、国際的な禪の根本道場として偉容を誇っています。昨年「移転100年記念」を迎えました。

本欄では三松閣での總持寺布教師による法話の中の「3つの心」を抜粋して紹介します。

幸せなる道、苦しみ乗り越えるにはどうしたらいいか、次の3つの心を持っていたきたい。そうすれば幸せになれるし、周りも幸せにできます。

一、報恩の心―受けた恩に報いること、恩を忘れてはいけません。

二、慈悲の心―仏教の精神である慈し

檀信徒様の ご支援に感謝

檀信徒様の皆様にはご厚意なご配慮を戴き、名譽副住職の役を務めさせていただくことになりました。体調は万全ではありませんが、ご法事には今までのごとくお務めさせていただくこととなりますが、今後とも宜しく願ひ申し上げます。

法灯を守り 益々精進を

萬福寺副住職 安本由道

18歳にて上京し駒沢大学へ進学、そして永平寺修行後、引き続き当山に務め27年余りが経ちました。山内はじめ護持会役員檀信徒の皆様、これまでに関わらるすべての皆様方に生かされ、多大なるご指導ご支援を賜りまして一言御礼ご挨拶を申し上げます。

これから出発点です。檀信徒の皆様と共に歩み、力の及ぶ限りそれ以上の努

法

6文字の言葉ですが、毎日毎日称えていると、最後には大往生が実現できるのではないかと思います。

三界(世界)の万靈を供養

法話では、当山恒例の大施餓鬼会法要が執り行われました。安本利正ご住職様をはじめ約40名の住持、僧侶による大読経が境内に響きわたりました。

横浜中華街・葉香で

波田野鈴雄顧問

安本利正ご住職様

波田野草研修委員長 小林榮子会長

INFORMATION

仏事のご案内

ご家族皆様で参加しましょう

12.14

本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳

午前11時から
※御本尊様の御開帳があります。

12.31

除夜の鐘つき

午後11時から法要
※11時からの法要にお集まりください。

1.1-1.3

だいはんにや え ふぎん
正月大般若会御祈祷諷経

午前11時から
※御本尊様の御開帳があります。

2.15

ねはん え
涅槃会法要

午前10時から

お知らせ

「写経会」

12月16日(日)と来年2月11日(祝)に実施

第3回写経会が12月16日(日) 午後1時から3時まで行われます。ご都合の良いお時間で参加してください。参加ご希望の方は人数等を寺務所までお電話ください(03-3771-2025)。(参加費用一人千円。写経紙・筆など無料貸出し)

平成25年 年回表	
一周忌	平成二十四年
三回忌	平成二十三年
七回忌	平成二十二年
十三回忌	平成二十一年
十七回忌	平成二十年
二十回忌	平成十九年
二十三年回忌	平成十八年
二十七年回忌	平成十七年
三十回忌	平成十六年
三十三回忌	平成十五年
三十七回忌	平成十四年
四十回忌	平成十三年
四十三回忌	平成十二年
四十七回忌	平成十一年
五十回忌	平成十年
五十三回忌	平成九年
五十七回忌	平成八年
六十回忌	平成七年
六十三回忌	平成六年
六十七回忌	平成五年
七十回忌	平成四年
七十三回忌	平成三年
七十七回忌	平成二年
八十回忌	平成元年
八十三回忌	昭和五十八年
八十七回忌	昭和五十七年
九十回忌	昭和五十六年
九十三回忌	昭和五十五年
九十七回忌	昭和五十四年
百回忌	昭和五十三年

御葬儀・法要の連絡は
萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。



安 本利正ご住職様、安本由道副住職様により心のこもった人形供養祭が10月21日(日)、リニューアルした梶原殿ホールで厳かにかつ盛大に執り行われました。主催は曹洞宗萬福寺と萬福寺護持会、協力は同ホールの運営・管理を行う(株)JA東京中央セレモニーセンター。祭壇には、前日から6千体を超える人形が寄せられました。

閉式後は江戸家猫八師匠(四代目)による「芸の心 人の心」と題した講演会が行われました。

安本ご住職様の法話
各寺では毎年4月8日(お釈迦様の誕生日)には花御堂を飾って甘茶をかける風習があります。私は、これが(東洋での)一番古い人形の魂ではないかと思ひます。そして、人形は私たちの生活に欠かせない存在となつてしまつた。

特に日本では子供を亡くされた母親が、人形をわが子の身代わりとして毎日可愛がっていたというのが人形の先祖であります。私たちの心と人形とは魂が通つています。魂が通つていゝからこそ、愛情も育まれます。

本日は大切にしていただけた人形とのお別れ式です。私たちも幸せになりたいし、人形も幸せに終わってほしいという願いが込められています。これからの人生が豊かで幸せとなるように、今日の人形供養祭を身体にとめおけば、広い心ですべてを愛していける、平等の心も育つのではないかと思います。

ホームページをリニューアル
ホームページをリニューアルしました。本誌「萬福寺たより」創刊号(平成20年秋号)から第10号(23年冬号)まで、ご覧いただけます。
(アドレス www.manpukuji.or.jp)

鬼 子母神は子育て、子授け、安産、そして災厄を除き福をもたらす守護神として崇められています。

昭和初年頃から行方不明となつていた当山の鬼子母神像の御帰山に貢献された静岡県の岸本家の方々をお迎えして執り行われました。

当日は寺宝の鬼子母神像を身近に拝観し子供達の成長、家内安全、子孫長久を祈願することができました。



初の「人形供養祭」

梶原殿ホール
リニューアルオープン記念

鬼子母神祈願法要

平成24年10月28日(日)

編集後記

今年も残りわずかとなりました。この一年、萬福寺護持会員の皆様には、いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

今年の護持会活動は、写経会や大本山總持寺への日帰り研修、萬福寺のホームページ開設、JA東京中央セレモニーセンター様との人形供養など、今までにない新しい試みが増えました。来年も萬福寺の更なる隆盛を願って、護持会の活発な活動をめざしてゆきたいと存じます。

お寺にも、JA東京中央セレモニー様への梶原殿運営委託や副住職様の交代など変更がございました。先号にもアンケートを同封いたしましたが、護持会員の皆様のお声をぜひお聞かせください(別紙長壽番付うら面)。

新しい年が皆様の幸多き年となりますよう、お祈りいたします。